

せいと 清斗農園

☆☆【輝く女性】 しみず 清水 えりか 江梨華さん ☆☆

(福井県福井市中新田町)

「きれいな野菜 すき野菜 清斗農園」を農園ロゴに記し、ひと味違うこだわり野菜を生産、直売する清水江梨華さん。特に、食べやすい品種を選んで作っています。「きょうふく」(ニンジン)「金福すいか」「銀福すいか」など福井の特産品の生産も担っています。

また、いろんな野菜をもっと食べてもらいたいと思い、ピクルスやゆずこしょう等の加工品づくりにも取り組んでいます。

【経営概要】

経営面積：15a (ハウス6棟)
品目：多品目・多品種の野菜
(約25種類)
加工品 (ピクルス等)



「野菜が苦手な人にも食べられるように」と苦みが少なく、食べやすいものを選定

自分が美味しいと思うものを作る。トマトだけでも10品種を栽培。

直売コーナー等でこだわりの野菜を販売

【女性活躍のポイント】

1. こだわりの品種選定

- ・一味違う、こだわりの品種を自ら選定 (きょうふく、いぼなしきゅうりなど多品種)
- ・福井にしかない特産野菜を生産 (金福すいか、銀福すいか、きょうふく、ディノケールなど)

2. ターゲット層への販売

- ・こだわり野菜を購入する客層の多い直売所に出荷
- ・直売所は商品の売れ行きが分かり、お客様の反応を直に感じられる

3. 家族の協力

- ・夫の慎介さんは別経営で稲作を営むが、稲作も園芸も二人で協力して行う
- ・夫とともに出荷に行くことで、効率よく短時間で複数の出荷先へ提供することができる
- ・特にハウスを修繕する際など、夫の手助けがあって助かっている

【清水江梨華さんからひとこと】

- ・トマトの生産のアルバイトをしたことがきっかけで、自分でもトマトを作ってみたいと思い、就農しました。県の施設(現園芸カレッジ)で1年半の研修を受け、栽培技術を学びました。
- ・私自身、苦手な野菜が多いので、野菜が苦手な人でも食べてもらえるようよく考えて品種を選んでいきます。においや食感など、ちょっと変わった美味しい野菜ばかりです。
- ・「この野菜は苦手だけど、これなら食べられる」とお客様から言ってもらえることが、とてもうれしいです。
- ・珍しい野菜でも、自分が栽培してまず最初に食べられるところが一番の魅力です。
- ・福祉施設に出荷作業を一部委託しており、今後、販売や加工の面でもっと連携を図り、生産・販売活動をどんどん広げていきたいと思っています。
- ・海沿い出身の私には福井の寒暖差が体に堪えますが、この気候により私の野菜も美味しくなってます。是非、食べて下さい。



農園ロゴには北斗七星のひしゃくのように野菜嫌いの子をすくいたいという想いが込められている



とても仲睦まじい、江梨華さんと夫の慎介さん